

事務事業名		すこやか親子・子育て支援事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		保健課		事業種別	政策	開始	17	終了	
H28担当課等名		H28係等名 保健指導係		H27係等名 保健指導係					
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実					
目的	対象(誰・何を)	①乳幼児(0~3歳)とその保護者、②妊婦とその配偶者、③体験学習実施高校生			指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	①乳幼児が、その発達段階に応じて健全な育ちができる ②子育てについての不安が軽減できる ③次世代の親の育成			対象指標	・各年の出生児数 人 ・妊婦と配偶者		5350	
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合 %				体験学習実施校の対象生徒数 人		112	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	乳児訪問実施率 %			98	98.9	98	-	
	成果指標	高校生・中学生ふれあい体験学習参加校数			5	4	5	-	
定性目標									
事業概要	<p>胎児および妊娠中から乳幼児の病気の予防と早期発見および健康の保持、増進を目的とし、パパママ教室、乳児家庭訪問、乳幼児健康相談、離乳食講座、あそびの広場等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と保護者がそれを喜べるよう子育て支援を行う。 ・発育、発達について保護者が客観的に確認でき、育児の見通しを持つ機会とする。 ・保護者の不安が軽減され、育児について具体的な方法を考える機会とする。 ・子どもの成長発達に必要な、生活習慣の基礎について考える機会とする。 ・同年代のこどもの集団遊びおよび母の交流の機会とし、子育ての孤立化の解消を図る。 								
事業内容				名称		活動指標			
27年度事業内容	1 出生0~2か月児の全員に対して保健師による家庭訪問事業の実施 民生児童委員による「おめでとう赤ちゃん訪問」の実施			1 2か月児訪問数		1 839人			
	2 産後うつ病について母親へのアンケート実施			2 産後アンケート調査実施数		2 807人			
	3 乳幼児健康相談(7か月児、12か月児、2歳児)の実施			3 乳幼児健康相談 実施回数・人数		3 138回 2458人			
	4 離乳食講座(前期、後期)の実施			4 離乳食講座 実施回数・人数		4 22回 326人			
	5 発達支援の必要な親子に対してあそびの広場の実施			5 あそびの広場 実施回数・延べ人数		5 12回 129人			
	6 乳幼児学級の実施			6 乳幼児学級 実施回数・延べ人数		6 693回 8048人			
	7 高校生・中学生の乳児ふれあい体験学習の実施			7 ふれあい体験学習参加校数・生徒数		7 4校 112人			
	8 妊婦とその配偶者を対象にパパママ教室の実施			8 パパママ教室 実施回数・延べ人数		8 20回 274人			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		3,822	4,449	3,644	5,801	[26特定財源](国・県)保育緊急確保事業費補助金(母子保健)(2/3) 294千円、(そ)諸収入 32千円			
国庫支出金		147	33	31	202	[27特定財源](国・県)子ども・子育て支援交付金(母子保健)(2/3) 62千円、(そ)諸収入 33千円			
県支出金		147	33	31	23	[28特定財源](国)地域少子化対策重点推進交付金 179千円、(国・県)保育緊急確保事業費補助金(母子保健)(2/3) 46千円、(そ)諸収入 33千円			
起債									
その他		32	33	33	33				
一般財源		3,496	4,350	3,549	5,543				
人件費計(千円)②		25,190		25,007					
正規職員所要時間		6,853		6,803					
臨時職員所要時間		636		632					
総事業費①+②		29,012	4,449	28,651	5,801				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい体験学習は、乳幼児相談の日程と高校の授業日程の調整が年々困難となっている。 								
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康相談の実施回数は現状で妥当であるが、保健センターの改築および上郷公民館の建設に伴い、乳幼児健康相談の会場変更について検討が必要となっている。 ・子どもへの関わり方がわからなかったり、子育てに不安を抱える親が増えている。 							
	②改革提案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の保健センター開設に伴い乳幼児健康相談の会場および実施回数の検討を行う。 ・乳幼児学級や離乳食講座、ふれあい体験等、子育てについて学ぶ機会を継続して確保する。 ・妊娠期からの継続した支援体制の検討を行う。 							